

salad bowl village

～ 田舎体験支援村 ～



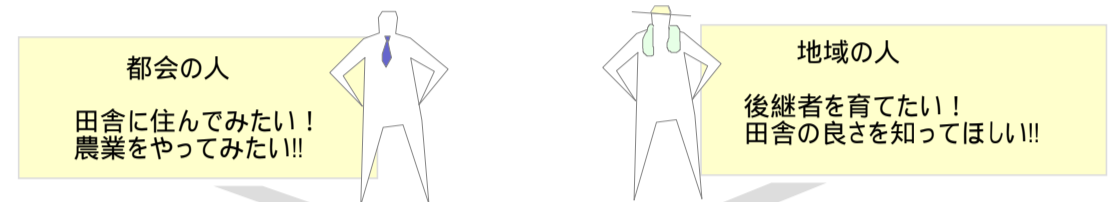
サラダボウルの中には色や味・におい・形・大きさ・かたさなどそれぞれに違うモノが集まり入っているけれど、それぞれに個性や存在感をもち、混ざり合うのではなく一つの器の中で混在している

山に囲まれた小さな地域交通の便利も悪く(若者は都会へ出て行ってしまう…)その結果、過疎・少子高齢化が進み、後継者を失いつつある

一方、ヒルに囲まれ暮らす人々は田舎に憧れを抱き癒しと新鮮さを求めている。時間に追われる日常から抜け出し、様々な体験を通して人々とのふれあいや心に潤いを与えてやっはどうだろう?

両者の求めるモノを満たしあい新しい出会いや体験のできる空間を作ることにより昔から自然に思われ農業・林業を通し自然と共に歩んできた地域の良さを多くの人々に伝え、これからはずっと共に歩んでいくための計画である

観光客
自然
農産
地域の人
ターンの人
地域



農業体験施設

しかし...ココでできる体験は限られている
地域全体で農業体験支援を行う

農業体験支援村

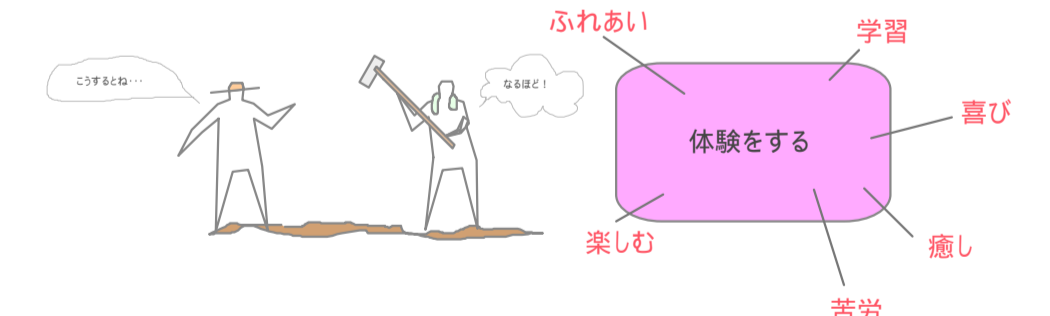
人が集まりやすい場所
地域の人々が農業・間伐などを教える
様々な体験を通して田舎に親しめる
!ターンの人々の模擬体験ができる

SYSTEM

施設だけでなく地域全体で体験が行える
都会から田舎体験をしたい人が訪れる

情報マップでその日に体験できるモノを確認し、体験したいモノを選び管理室で受付をする。
情報マップ
季節や天候によって体験できるモノが違いため施設にしながら情報を得ることのできるシステム。

自転車を借りて農家に出かける
ココでの移動手段は自転車



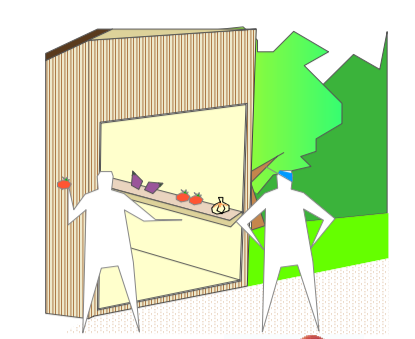
田舎に住んでもっと農業のことを知りたい!
都会ではできない様々な体験ができて楽しかった!!

農業・林業への関心が高まる

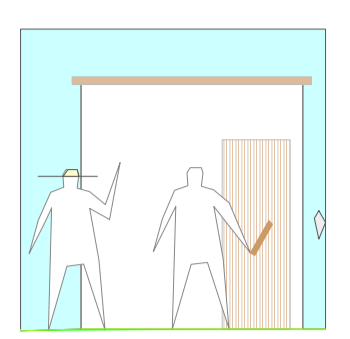


POINT

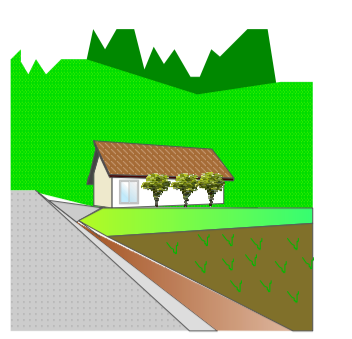
3つのzoneが交わる空間、
宿泊施設や農具庫、青空市場などの新たな施設はこの空間に設ける。
zone同士をつなぐ役割も持つ
地域全体で体験できるモノを年間を通して様々な体験が出来るよう大まかに季節のzoneで分けたもの



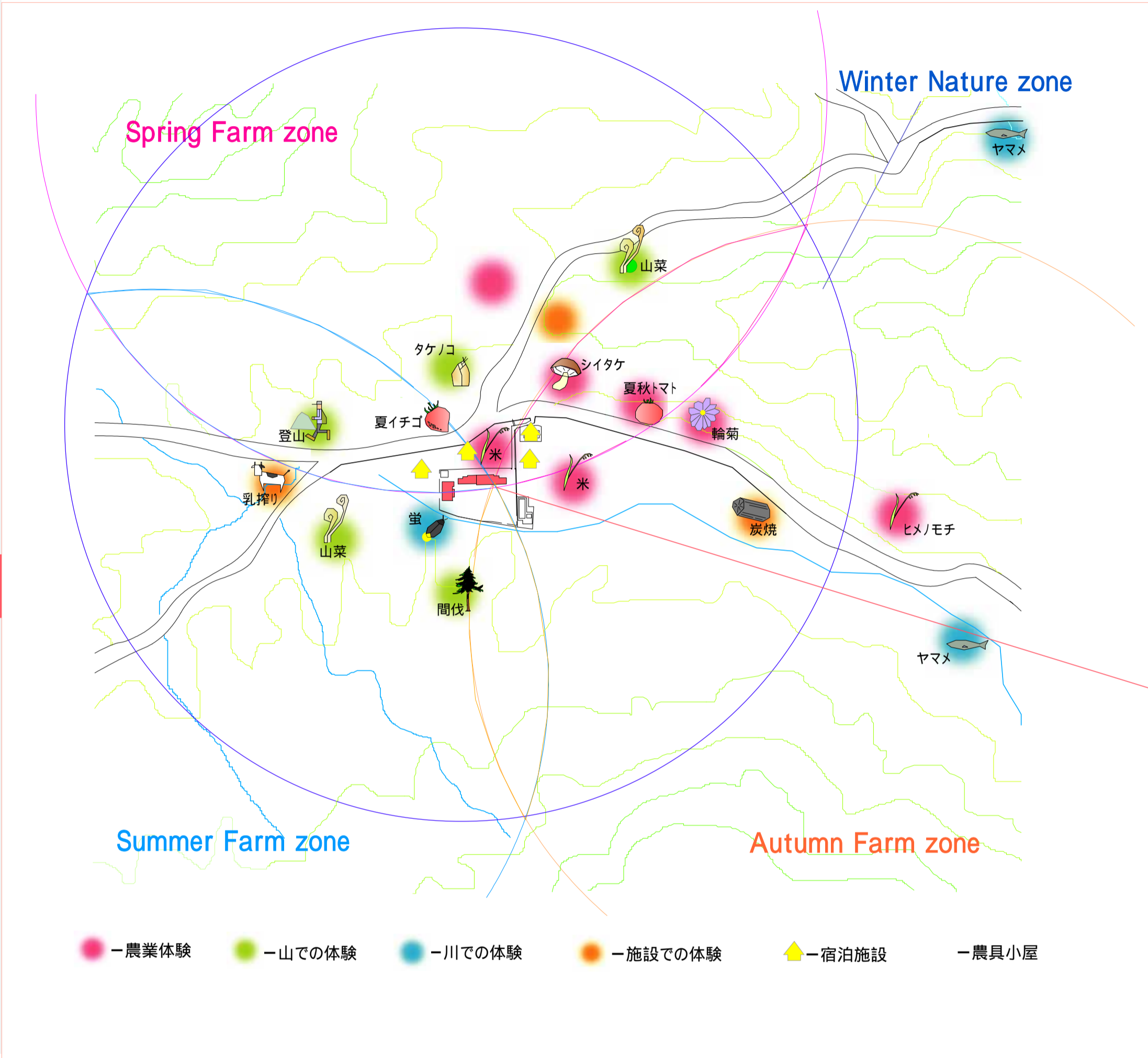
青空市場
農家で採れた新鮮な野菜を安く購入できる



農具置場
移動手段は自転車なので大きな道具などをしまっておく場所、待ち合わせ場所としても利用。



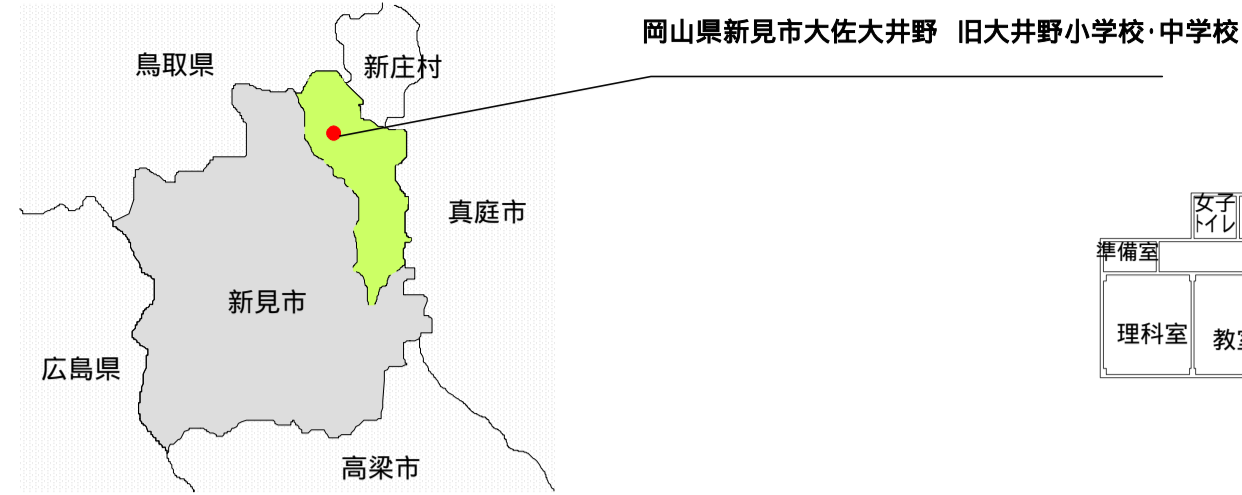
宿泊施設
田舎滞在中の家、必要最低限の設備のみを備えている。



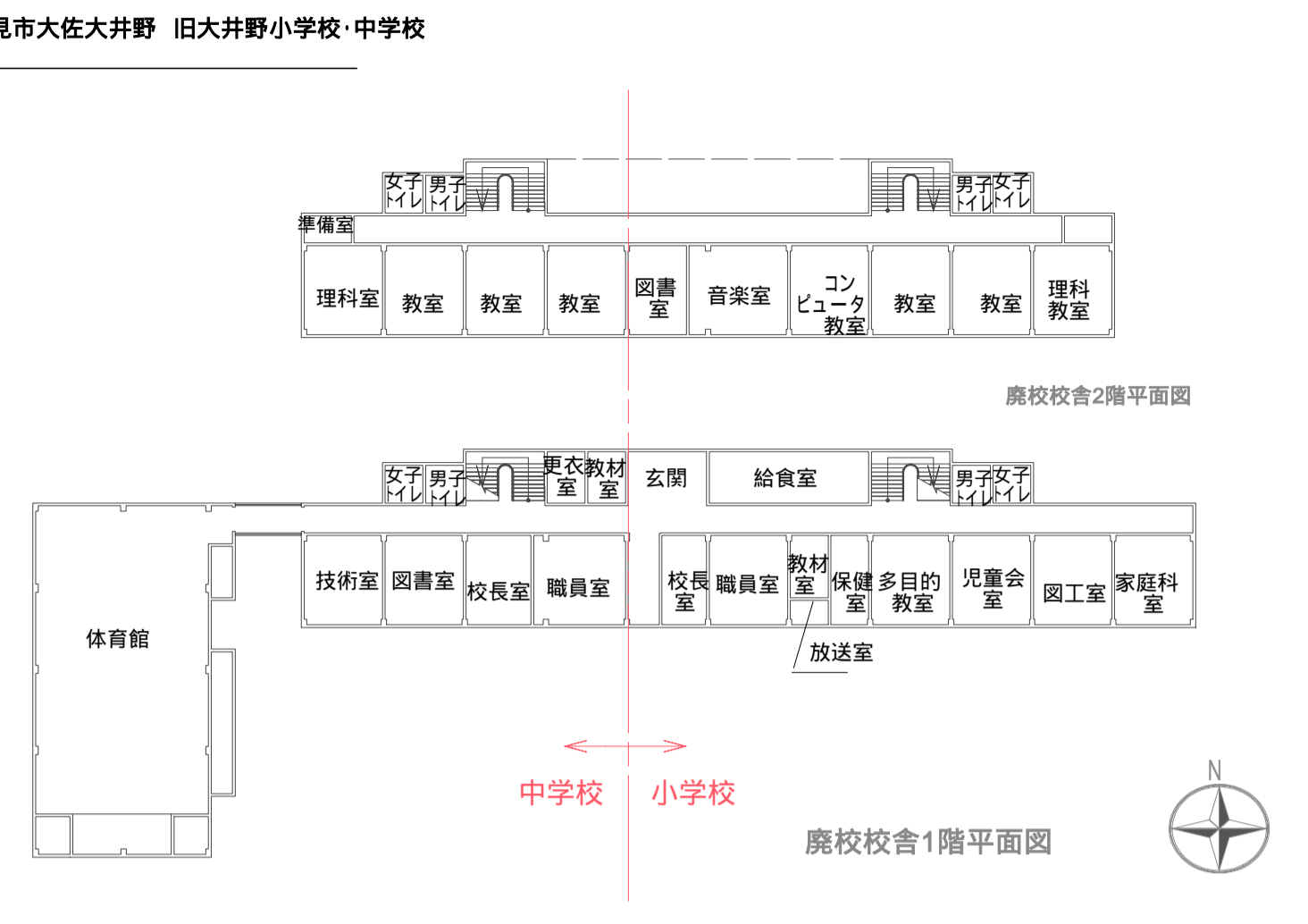
廃校になった小・中学校の校舎の活用

児童・生徒数が少ないため小学校と中学校が一つの建物の中にある。

LOCATION

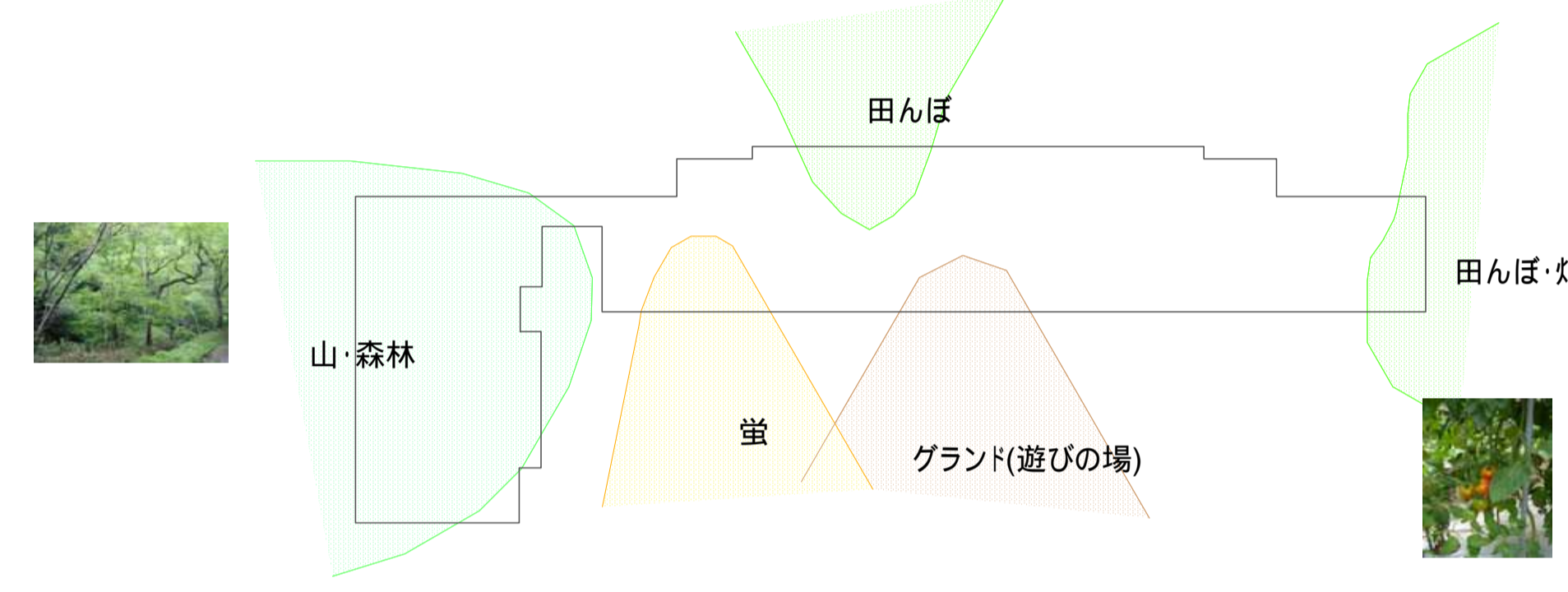


岡山県北部、鳥取県との県境に位置する大井野地区は四方を山に囲まれた小さな地域。自然がとて多く冬は雪に覆われ、夏は避暑地として観光客が訪れる



廃校 田舎体験支援施設

周囲の自然が校舎内にも侵食してくる
自然と施設が一体化し、室内にいても自然を身近に感じられる空間を作る



HOME

田舎体験の拠点
それぞれのzoneが交わる場所にあり、ふれあい・学び・遊び・味わい...なんでもアリの支援施設。訪れた人と地域の人が出会い、ふれあう場

- ものづくり工房兼交流広場...間伐材を使って木工体験などができる。また、雨天時や冬場の広場としても使用可。
- 情報発信スペース...体験できるモノが確認できる情報マップがあり地域の情報を得られる。
- 食堂...地域の人に郷土料理を収穫した食材を使って料理してもらえ味わうことができる。
- 調理+加工室...収穫した野菜などを加工して地域の人や観光客に販売する。新しい特産品の研究も行う。
- 観察・実験室...観察デッキでホタルや野鳥の観察をする。
- コミュニティスペース...地域の人と訪れた人が語り合い交流を深めるスペース。施設のビングルーム。
- グラウンド...晴れた日には夜空を見上げたり、青空の下で作業をしたり、子供たちは伝承遊びを行ったりする

